

# いろいろな使いかた

## その他設定

汚物が流れにくいとき

### 便器洗浄水量6Lモード

汚物が流れにくいとき

### 便器洗浄水量8Lモード

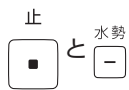
「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.56、57)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ設定を行ってください。

「便器洗浄水量8Lモード」に設定している場合は、8Lモードの設定を解除してから行ってください。

「便器洗浄水量6Lモード」に設定している場合は、6Lモードの設定を解除してから行ってください。

#### 「入」にするとき

1



リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)



2



押す

3



押す

4



押す

4



押す

・「ピッ」という電子音が鳴ります。

#### <設定完了>

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L  
→大6.0 L/小5.0 Lになります。  
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L  
→大6.0 L/小5.0 Lになります。)

#### <設定完了>

床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L  
→大8.0 L/小6.0 Lになります。  
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L  
→大8.0 L/小6.0 Lになります。)

#### 「切」にするとき

上記と同じ操作をする  
・「ピーッ」という電子音が鳴ります。

# お手入れ

## 電源プラグ

### 電源プラグ(目安:月に1回)



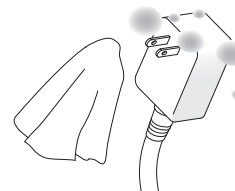
かわいた布



ぬれた布

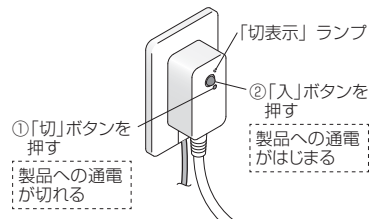
1

電源プラグを抜き、かわいた布でふく



2

電源プラグを差し込み、作動確認をする  
(電源プラグについて→P.13 ※1)



①「切」ボタンを押す  
製品への通電が切れる

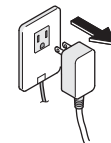
「切表示」ランプ  
②「入」ボタンを押す  
製品への通電がはじまる

「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

### 警告



- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
- プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
- コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。



### 警告



お手入れや点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く(感電や誤作動による故障の原因)

お手入れの際は安全のため電源プラグを抜いてください。 ※1 ※2

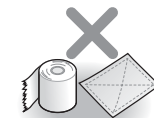
「運転」ランプが消灯します。  
点灯 → 消灯



ウォシュレット本体

便器

プラスチック部品には、かわいた布やトイレトーパーを使わないでください。  
(傷つきの原因)



※1 「ノズルそうじ」「便器そうじ」「お掃除ミスト」使用時は除く

※2 電源プラグを差し込んで約10~60秒間は便ふたが自動で開きません(準備運転中のため)。リモコンで操作してください。 ※3

※3 RS1以外

お手入れ

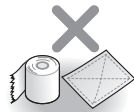
# お手入れ

## ウォシュレット本体

### ウォシュレット本体 (ふだん)



水でぬらした  
やわらかい布



・トイレトーパー  
・かわいた布  
・ナイロンたわし(傷つきの原因)

### 1 電源プラグを抜き、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

#### ■汚れがひどいときは

・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、水ぶきする



・シンナー  
・ベンジン  
・クレンザー

### 2 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

#### お願い

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気をつけてください。温風吹出口\*1やノズルまわりにあるカバーなどに直接洗剤を入れないでください。(プラスチックを傷めたり、故障の原因)
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
  - 便器に残った洗剤はふき取ってください。(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因)  
<「便ふた閉止後洗浄モード」\*2 (P.28) を「入」にしている場合> (P.9)
- 温風吹出口\*1やノズルまわりにあるカバーは、無理な力で押ししたり引っ張ったりしないでください。(破損や故障の原因)
- 便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。(汚れ付着などによる変色の原因)

### お掃除ミスト (ふだん) \*1

便器内にきれい除菌水のみストをかけ、汚れを浮かせてお手入れすることができます。

**リモコン裏面** ⇒ リモコンの取りはずしかた (P.12)

**お掃除ミスト** 押す

\*1 RS2・RS1以外

\*2 RS1以外

## 便器

### 便器 (ふだん)



・掃除用スポンジ  
・ブラシ  
・トイレ用中性洗剤



・業務用の強酸性/強アルカリ性洗剤  
・研磨剤入りの洗剤  
・フッ素系洗剤  
(フッ化水素・フッ化アンモニウムを含む)  
・撥水性洗剤  
・金属ブラシ  
・研磨剤入りのナイロンたわし

### 1 電源プラグを抜き、掃除用スポンジ・ブラシなどでお手入れする

■ 便器の水面を下げてお手入れすることができます。

(電源プラグを差し込んでください。)

「便器そうじ」

**リモコン裏面** ⇒ リモコンの取りはずしかた (P.12)

**便器そうじ** を押す

・便器に水が流れて排水されたのち、約50秒間水面が下がる

便器内のそうじをしてください。

↓  
・便器の水が排水され、もとの水位に戻る

● 途中で止めたいとき  
止

■ (リモコン正面) 押す

■ 便器が詰まったときは

- ・市販の詰まり除去用の器具 (商品名: ラバーカップ洋式など) を使う
- ・水位が便器の上面近くまである場合は、手動ポンプなどを使用し便器上面より10 cm以上下げる (ラバーカップ洋式など使用時に汚水があふれて室内浸水の原因)

■ 床が汚れたときは

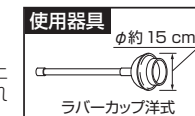
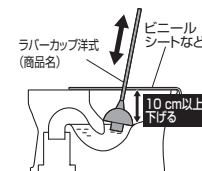
- ・よくしぼったぞうきんでふき取る (床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ)
- ・立って小用したときの跳ね返りは座ってすることで軽減できます。

### 2 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

#### お願い

- ウォシュレット本体や、ウォシュレット本体と便器のすき間に、水がかからないよう気をつけてください。(室内浸水の原因)
- 撥水性や防汚性のある洗剤・表面コート剤などは使用しないでください。陶器表面を傷めることはありませんが、洗剤やコート剤の成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。



# お手入れ

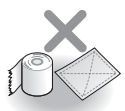
## 本体のすき間 (ウォシュレット本体と便器)

### ウォシュレット本体と便器のすき間 (目安: 月に1回)

ウォシュレット本体をお掃除リフトボタンで持ち上げて、便器とのすき間をお手入れできます。

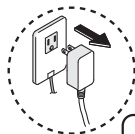


水でぬらした  
やわらかい布

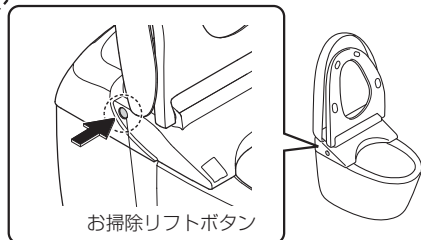


トイレットペーパーなど  
(傷つきの原因)

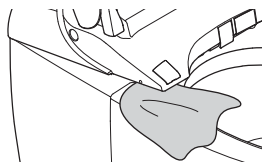
- 1 電源プラグを抜き、便座・便ふたを開ける



- 2 お掃除リフトボタンを押す  
・ウォシュレット本体の前側が上がる



- 3 すき間のお手入れをする  
・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、洗剤が残らないよう水ぶきする

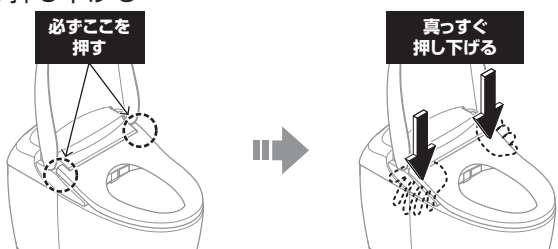


**注意**

- お掃除リフトでウォシュレット本体が上がった状態で使用しない
- お掃除リフトでウォシュレット本体を下げる時は、本体と便器のすき間に指を入れない

- お願い**
- 直接スプレー式洗剤や水をかけないでください。
  - ウォシュレット本体を上げたまま、便座・便ふたを無理に動かさないでください。

- 4 便座を閉じて、ウォシュレット本体を「カチッ」と音がしなくなるまでしっかり押し下げる



※最大6回「カチッ」と音がします。

- 5 電源プラグを差し込む  
・「運転」ランプが点灯する

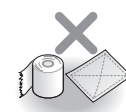
## 本体のすき間(ウォシュレット本体と便ふた)

### ウォシュレット本体と便ふたのすき間 (目安: 月に1回)

便ふたを取りはずして、すみずみまでお手入れができます。



水でぬらした  
やわらかい布



トイレットペーパーなど  
(傷つきの原因)

- 1 電源プラグを抜き、便ふたを取りはずす



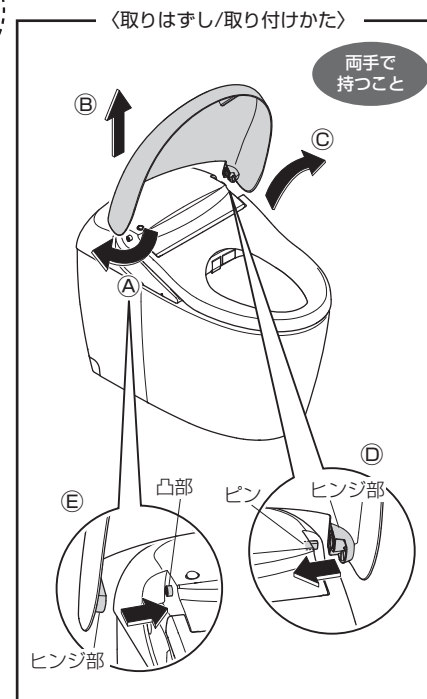
- 便ふたを少し手前に傾ける
- ①: 便ふたを外側に広げ
  - ②: ヒンジ部を凸部からはずし引き上げる
  - ③: 便ふたをはずす

- 2 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

- 3 便ふたを取り付ける

- ④: ピンとヒンジ部を合わせる
- 便ふたを少し手前に傾ける
- ①: 便ふたを外側に広げながら
  - ②: ヒンジ部を凸部に合わせ取り付け  
※指をはさまないように注意してください。

- 4 電源プラグを差し込み、便ふたを開閉して取り付けを確認する  
・「運転」ランプが点灯する



### ノズル (目安: 月に1回)

<汚れが気になるとき(ノズルそうじ)>

#### 1 ノズルを出す

リモコン裏面 ⇒ リモコンの取りはずしかた (P.12)

ノズル  
そうじ を押す

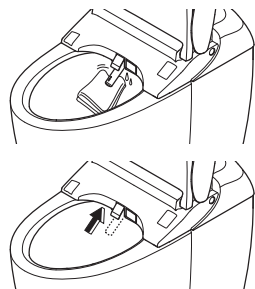
- ・ノズルが出て掃除のための水が出る
- ・約5分後に自動で戻る

#### 2 やわらかい布で水ぶきする

- ・ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたりしない (破損や故障の原因)

#### 3 ノズル そうじ 押す

- ・ノズルが戻る



### 脱臭フィルター (目安: 月に1回)

#### 1 電源プラグを抜く

#### 2 脱臭フィルターを 取りはずす

- ・つまみを持って、外側に引き出す
- ・無理に引っ張らない (破損や故障の原因)

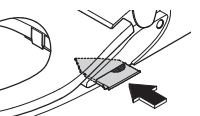
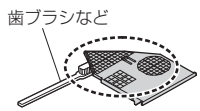
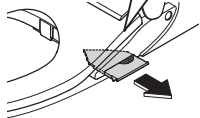
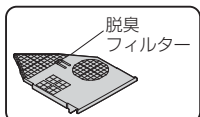
#### 3 歯ブラシなどで掃除を する

- ・水洗い時は、取り付け前に水気を取る
- ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.66)

#### 4 脱臭フィルターを 取り付ける

#### 5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する



「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

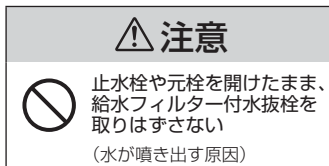


### 給水フィルター付 水抜栓 (目安: 半年に1回)

<水勢が弱くなったと思ったとき>

#### 1 止水栓または元栓を閉める (P.4)

- ・給水が止まる



#### 2 ノズルきれい ノズル そうじ 押す

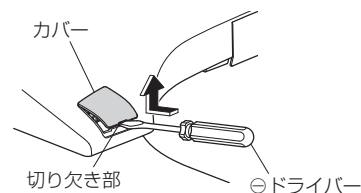
(給水管の圧抜き)

#### 3 電源プラグを抜く

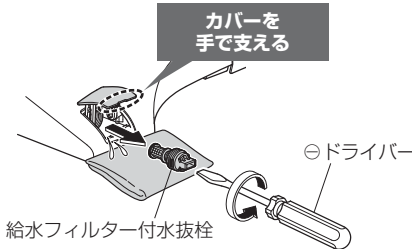
#### 4 便座・便ふたを開ける

#### 5 カバーを開けて、 給水フィルター付水抜栓を 取りはずす

- ①カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける



- ②給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る

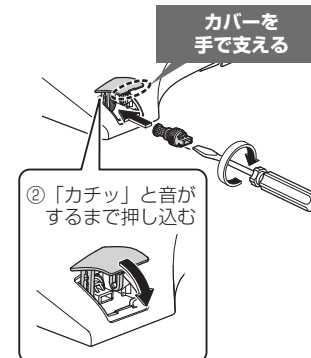


#### 6 歯ブラシなどで掃除をする

- ・給水フィルター付水抜栓取付穴のゴミも取り除く
- ・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入はP.66)

#### 7 給水フィルター付水抜栓を 取り付け、カバーを閉める

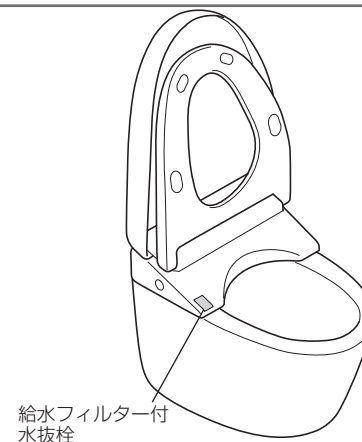
- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



#### 8 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

#### 9 止水栓または元栓を開ける (P.13)



### 給水フィルター(便器) (目安: 半年に1回)

**1** すっきりパネル(左)を取りはずす

裏面に、開閉工具(付属)があります。

**2** 止水栓または元栓を閉める (P.4)

- 給水が止まる

**注意**

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルターを取りはずさない (水が噴き出す原因)

**3** ノズルきれいを押す (給水管の圧抜き)

**4** 電源プラグを抜き、給水フィルターのふたを開けて給水フィルターを取り出す

- 開閉工具(付属)を使用する

壁排水リモデルの場合

**5** 給水フィルターをふたから取りはずし、歯ブラシなどで掃除する

- 洗剤は使わない
- 給水フィルターに無理な力を加えない (変形の原因)
- 汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入は P.66)

**6** 給水フィルターをふたに取り付けたあと、ふたを開閉工具で締め付ける

壁排水リモデルの場合

**7** 止水栓または元栓を開ける (P.13)

- 止水栓と配管接続部から水漏れがないか確認する

**8** 開閉工具をもとに戻してすっきりパネル(左)を取り付ける

- すっきりパネル(左)は、便器上面と便器側面にあわせて、すき間がないように取り付ける

**9** 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する



必要に応じて



# こんなときは

## 停電で水が流せないとき (断水していないとき)

■給水リング (オレンジ) と水ためリング (白) で便器の水を流すことができます。

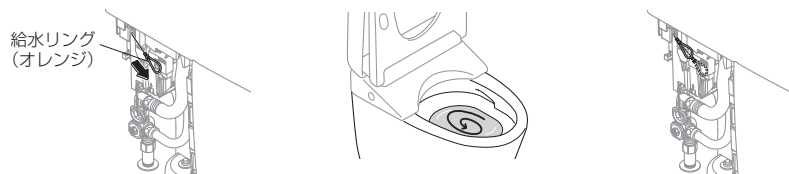


**1** すっきりパネル (左) を取りはずす

**2** 便座・便ふたを開ける

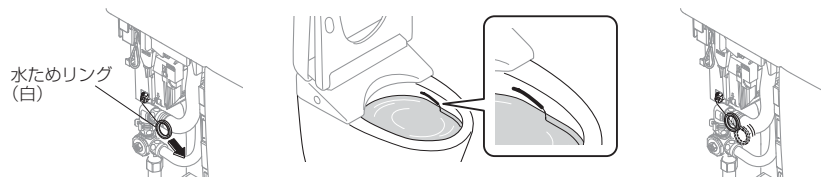
**3** 給水リング (オレンジ) を操作して、便器に水を流す

①給水リング (オレンジ) を 止まる位置まで引く ||| 水が流れ始める ||| ②給水リング (オレンジ) を はなす



**4** 水ためリング (白) を操作して、便器の水たまり面を上昇させ、便器の水を流す

①水ためリング (白) を 止まる位置で引き続ける (便器の水たまり面が上昇します。) ||| 吐水口上面まで水をためる ||| ②水ためリング (白) を はなす (便器の水が流れ、水たまり面が下降します。)



### ご注意

• 水ためリング (白) を引き続けると、便器の水があふれることがあります。

### お願い

• 水ためリング (白) をはなしても便器の水が流れない場合は、便器が詰まっている可能性があります。給水リング (オレンジ) を止まる位置まで引き、はなした後、便器の詰まりを取り除いてください。(P.41) (水があふれる可能性があるため)

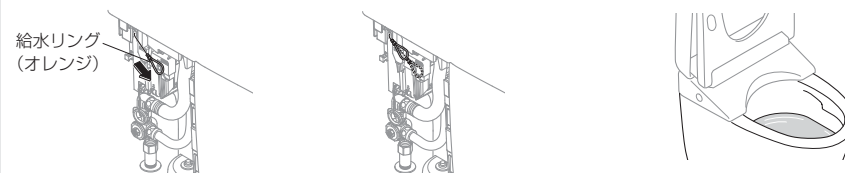
### 必ず実施

**5** 便器の水が元の高さまで戻ったら、給水リング (オレンジ) を操作して、便器に流す水を止める。

### お願い

• 汚物がきれいに流れなかった場合は、もう一度手順③からやり直してください。

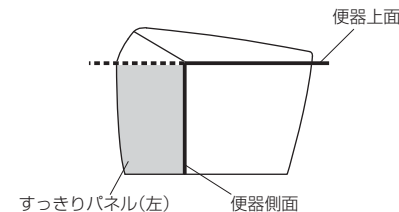
①給水リング (オレンジ) を 止まる位置まで引く ||| ②給水リング (オレンジ) を はなす ||| ③ 便器の水が止まったことを確認



給水リング (オレンジ) を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。必ず給水リング (オレンジ) を止まる位置まで引き、便器に流す水を止めてください。

**6** すっきりパネル (左) を取り付ける

• すっきりパネル (左) は、便器上面と便器側面にあわせて、すき間が目立たないように取り付ける。



### お願い

• 停電が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)  
• バケツで便器の水を流すこともできます。(P.50)